

第Ⅱ期 出雲市学力向上推進プラン

出雲市の学力向上キャッチフレーズ

プラスワン

「+1する出雲の子ども」を育てる

～ みんなで 徹底して ～

平成29年(2017)6月
出雲市教育委員会

目 次

1	第Ⅱ期 出雲市学力向上推進プランの策定にあたって	
(1)	趣旨	P 3
(2)	プランの位置付け	P 3
(3)	プランの期間	P 3
2	出雲市の学力・学習状況調査の結果	
(1)	学力調査の平均正答率からみた成果と課題	P 4
(2)	学習状況調査の結果からみた成果と課題	P 4
3	学校・各種委員会等がとらえている課題	
(1)	学校の重点的な取組	P 5
(2)	校長会・各種委員会等からの意見	P 5
4	出雲市が目指す「学力」	P 6
5	出雲市が目指す学力向上の方向性	
(1)	出雲市の学力向上キャッチフレーズ	P 6
(2)	「+1する子ども」とは	P 6
(3)	なぜ「『+1する子ども』を育てる」なのか	P 6
6	学力向上推進の基本的な姿勢	
(1)	みんなで	P 7
(2)	徹底して	P 7
7	出雲市の学力向上に向けた具体的な取組	
(1)	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善	P 8
(2)	主体的な学びに結びつく家庭学習の充実	P 9
(3)	学校と家庭・地域との連携強化	P 9
資料	平成28年度全国及び市学力・学習状況調査の結果	P 11

1 第Ⅱ期 出雲市学力向上推進プランの策定にあたって

(1) 趣旨

本市では、平成25年(2013)8月に第2期出雲市教育振興計画を策定し、その中で、義務教育が目指す方向で示した『確かな学力の定着』※1を具体化するため、平成26年(2014)11月に「出雲市学力向上推進プラン(以下、「第Ⅰ期プラン」という。)」を策定しました。

第Ⅰ期プランでは、本市の児童生徒は、国・県と比較して高い学力にあるものの、資料の読み取りや分析、考えをまとめ書くこと、夢を実現するために努力するなどの学力に課題があることから、「自ら目標をもち実現しようとする力」「問題を解決する力」「学びを広げる力」を目指す学力として捉え、学校や家庭、地域と連携した取組により改善を図ってきました。

この度、平成29年3月に第3期出雲市教育振興計画(平成29年度(2017)～平成33年度(2021))を策定したことから、新たに「第Ⅱ期出雲市学力向上推進プラン(以下、「第Ⅱ期プラン」という。)」を策定するものです。

第Ⅱ期プランでは、本市の教育を取り巻く現状と課題を踏まえながら、これまで取り組んできた教育施策や関連する取組のさらなる充実と新たな課題への対応を図っていくこととしました。

また、次期学習指導要領で示された『主体的・対話的で深い学び』※2の実現を図り、児童生徒が学ぶ楽しさを実感できる学校教育を目指します。

※1 「基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力」の定着。

※2 子どもたちが、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができる学びの過程。

(2) プランの位置付け

第Ⅱ期プランは、平成28年9月に策定された出雲市教育大綱の趣旨を踏まえた第3期出雲市教育振興計画に掲げる『確かな学力の定着と向上』に特化したものです。

(3) プランの期間

第Ⅱ期プランの期間は、第3期出雲市教育振興計画との整合性を考慮し、平成29年度(2017)から平成33年度(2021)までとします。

2 出雲市の学力・学習状況調査の結果

(1) 学力調査の平均正答率からみた成果と課題

本市の児童生徒は、「読み・書き・計算」など、各教科の基盤となる学習内容に定着がみられます。また、資料から読み取った情報をもとに課題を解く力も改善傾向にあります。これまで各小・中学校で取り組まれてきた授業改善及び補充学習への重点的指導や、各学校が「家庭学習の手引き」を作成し家庭と連携して取り組んできた成果といえます。さらに、すべての小・中学校に学校司書または読書ヘルパーを配置したことにより、読書活動の充実や図書を活用した学習が広がったことも一因と考えます。

一方で、自分の考えを整理して記述したり、学習した算数または数学の力を使って、生活の中で起こる課題を処理したりする力に課題がみられます。次期学習指導要領で求められている新しい学びの形である、基盤となる学習内容を生かした主体的・対話的で深い学びへの転換が必要です。

全国学力・学習状況調査結果

【国語A】

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
小 6	全 国	72.9	70.0	72.9
	島根県	73.6	69.3	74.5
	出雲市	74.9	71.2	75.9
中 3	全 国	79.4	75.8	75.6
	島根県	80.2	75.7	76.3
	出雲市	82.2	77.1	77.6

【国語B】

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
小 6	全 国	55.5	65.4	57.8
	島根県	54.5	63.8	57.3
	出雲市	55.1	65.2	59.1
中 3	全 国	51.0	65.8	66.5
	島根県	52.0	65.6	67.9
	出雲市	56.0	65.8	70.0

【算数/数学A】

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
小 6	全 国	78.1	75.2	77.6
	島根県	76.3	72.4	77.0
	出雲市	76.8	73.2	77.7
中 3	全 国	67.4	64.4	62.2
	島根県	66.1	62.7	59.5
	出雲市	69.0	65.4	60.9

【算数/数学B】

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
小 6	全 国	58.2	45.0	47.2
	島根県	56.5	42.2	45.9
	出雲市	58.1	43.5	46.4
中 3	全 国	59.8	41.6	44.1
	島根県	59.1	39.6	41.7
	出雲市	62.9	42.1	44.2

※ ゴシック体太字は、国及び県の平均正答率をいずれも上回った数値です。

※ 全国学力・学習状況調査は、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象として、国語・算数/数学及び学習状況調査が毎年4月に実施されます。

※ Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題です。

(2) 学習状況調査の結果からみた成果と課題

本市の児童生徒は、「朝食を毎日食べる」「家で学校の宿題をする」「学校の規則を守る」等の項目で90%以上が肯定的な回答をしており、保幼小中連携による学習・生活習慣の取組に一定の成果がみられます。

また、「授業のはじめに目標（めあて、ねらい）が示されていた」「授業で自分の考えを発表する機会が与えられていた」の項目で80%以上が肯定的な回答があり、教員の授業改善も図られています。

一方で、家庭学習の状況では、平日（月～金曜日）に1時間以上家庭で学習する割合は、小学校で増加傾向にあります。中学校は約40%の生徒が1時間未満に留まっており、「全くしない」と回答した生徒が増加する傾向にあります。

また、「国語や算数/数学の勉強は大切だ」と回答した児童生徒は高い割合であるのに対して、「国語や算数/数学の勉強は好きだ」と回答した児童生徒は下表のように低い傾向にあります。

質 問 項 目	児童(小6)	生徒(中3)
国語の勉強は大切だ	90.6%	89.5%
国語の勉強は好きだ	58.9%	60.8%
算数/数学の勉強は大切だ	90.2%	83.2%
算数/数学の勉強は好きだ	57.8%	57.2%

学習課題の解決に向けて、グループ等で情報を集め、話し合って整理・分析し、文章で表現したり工夫して発表したりする活動も、今後は積極的に取り組んでいく必要があります。

3. 学校・各種委員会等がとらえている課題

(1) 学校の重点的な取組

本市の各小・中学校では、年度当初に前年度の学力状況や家庭での生活習慣を分析し、「確かな学力向上策」を作成しています。平成28年度に作成された学力向上策では、次のキーワードが多く取り上げられており、本市の児童生徒に身につけたい力が明らかとなりました。

学力に関するキーワード	家庭生活に関するキーワード
情報活用能力の育成(33校)	家庭学習の充実・定着(39校)
言語活動・話し合い活動の充実(20校)	メディア接触への意識(22校)
学ぶ楽しさ・学習意欲の向上(14校)	基本的生活習慣の確立(11校)

※1校あたり複数の回答あり（小学校38校、中学校15校）

(2) 校長会・各種委員会等からの意見

これまでの各会議等において、本市の児童生徒に学力を定着させるため、取り組むべき必要がある点として、次の内容が挙げられました。

- ① ふるさと・キャリア教育の充実
- ② 学校図書館の充実（図書と新聞）と小・中学校への学校司書配置
- ③ ICT機器（電子黒板、大型モニター、タブレットパソコン等）を活用した学習指導への転換
- ④ 小学校外国語教科化等の円滑な実施に向けた指導体制及び教育課程の検討
- ⑤ 主権者教育及びプログラミング教育の推進

4 出雲市が目指す「学力」

第Ⅰ期プランで示したとおり、出雲市のすべての子どもの学力を高め、出雲の未来を切り拓く人材を育成するためには、「自ら目標をもち実現しようとする力」「問題を解決する力」「学びを広げる力」の3つの力を、学校・家庭・地域においてバランスよく身に付けていく必要があります。

第Ⅱ期プランでは、児童生徒の実態、学校教育における成果と課題及び次期指導要領が示す新しい学力観に基づき、目指す「学力」に到達するため重点的に育成すべき力を見直しました。

- **自ら目標をもち実現しようとする力**
目標達成するための知識・技能、問題意識をもって主体的に学ぶ力
- **問題を解決する力**
身に付けた知識・技能を基盤とした思考力、判断力、表現力
- **学びを広げる力**
学びを生活と結び付けて考える力、学びを人生や社会に活かす力

5 出雲市が目指す学力向上の方向性

(1) 出雲市の学力向上キャッチフレーズ

プラスワン
「+1する出雲の子ども」を育てる
～ みんなで 徹底して ～

(2) 「+1する子ども」とは

「+1する子ども」とは、今よりももっとよりよい自分になるために頑張ろうとする子どものことです。具体的には、「わかるようになろう」「できるようになろう」「もっとわかりたい」と、今よりも少しでもよい自分にしていこうと一歩を踏み出したり、自己を改善したりできる子どもです。

「+1する子ども」を育てることは、教育振興計画の基本理念にある「出雲の未来を切り拓くしなやかでたくましい人づくり」にもつながります。

(3) なぜ「『+1する子ども』を育てる」なのか

出雲市では、小・中学校の義務教育期間だけでなく、将来にわたって学び続ける出雲の子どもでいてほしいと願っています。常に前向きに学び、よりよい自分を求めて頑張る子どもを育てることは、将来の活力ある人材を育てることにつながります。そのことがよりよい出雲市を創る原動力となり、出雲市民の幸せにもつながると考えています。

そのために、出雲の子どもに「今よりも、もっとよりよい自分や地域、社会になるために、協力して頑張ろうとする態度」を育てていくことが必要です。学力向上推進の観点からいえば、出雲の子どもへの学習への関心と意欲を高めて

いくことが重要です。

出雲の子どもは高い学力を保持していますが、主体的に学習活動に参加したり、さらによりよいものを求めて友だちと頑張る力をつけていったりすることで、さらなる学力の高まりが期待できます。

また、出雲市には確かな指導力を持つベテランの教員が多く、長年の経験により蓄積されたノウハウを教員同士で共有し、さらに教員自らが「+1」を実践していけば、子どもの主体的・対話的な学びをより一層高めていくことができます。

以上の理由から、第Ⅰ期プランに引き続いて「『+1（プラスワン）する出雲の子ども』を育てる」を出雲市の学力向上のキャッチフレーズとし、学力向上の取組を推進していきます。

6 学力向上推進の基本的な姿勢（～ みんなで 徹底して ～）

(1) みんなで

学校、家庭・地域及び教育委員会それぞれが、目指すべき方向性「+1する出雲の子ども」を共通理解し、それぞれができることを役割分担して確実に取り組むことで効果あるものとなります。これは、出雲市教育大綱で掲げる基本理念「家庭・地域・学校で育む出雲の教育～出雲の未来を切り拓くしなやかでたくましい人づくり～」とも合致します。

役割を担う一人一人がその役割を自覚し、みんなで出雲の子どもを育てていく意識を高めることを大切にしていきます。また、大人が「+1」の意識をもって生活することによって、児童生徒への模範ともなります。

① 学校で

学校の教職員はもちろん、学習の主体者である児童生徒も含め、学校をあげて学力向上の推進を図ります。

② 家庭・地域で

相互の役割を確かめ合い、学校と適切な連携を図りながら学力向上の推進を支えます。

③ 教育委員会で

学力向上の環境づくりも含めた、学力向上推進のための事業に教育委員会全体で取り組みます。

(2) 徹底して

学力向上の取組は、学校、家庭・地域及び教育委員会が、それぞれ決めたことを徹底して行うことが大切です。

目指すべき方向性を共通理解し、取り組むべきことを精選し、それぞれの立場において徹底して行うことを大切にします。

7 出雲市の学力向上に向けた具体的な取組

目指す学力の方向性と本市の現状を踏まえ、第Ⅱ期プランでは「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善」「主体的な学びに結びつく家庭学習の充実」「学校と家庭・地域等との連携強化」の3つの柱に沿って、具体的方策を記述します。

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善

学ぶこと、追究することの楽しさが実感でき、児童生徒が主体的に学びに向かおうとする授業への改善を行います。

① 児童生徒が行うこと

ア 学習の目標（めあて等）を意識し、意欲をもって粘り強く学習に取り組みます。

イ 自分の考えをもち、友だちの考えを尊重しながら、協力し合って学習に取り組みます。

② 学校が行うこと

ア 学力調査結果等から自校の授業改善の手立てを具体化（「確かな学力向上策」を作成）して、改善に向けた研修や研究に取り組みます。

イ 児童生徒が安定した気持ちで学習に取り組むために、学力向上の基盤となる学級経営や生徒指導のより一層の充実を図ります。

ウ 家庭や地域に、自校の学力向上策や授業改善の重点内容等について、情報発信を行います。

エ 学習の目標（めあて等）と振り返りを意識した「わかる授業」への転換を図るとともに、次期学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。

③ 家庭・地域が行うこと

ア 常に子どもや学校に関心を持ち、学習活動や学校行事に積極的に参加します。

イ 学校で学んだことが家庭・地域で生かせたり、試したりできるよう体験活動の機会を提供します。

④ 教育委員会が行うこと

ア 各学校の要請に応じ、1校あたり年間3回以上の学力向上に係る学校訪問指導を実施し、各学校の学力向上策の取組、授業改善への助言等を行います。

イ 様々な分野で活躍する地域の人材を、学校が各教科や総合的な学習の時間、特別活動等に積極的な活用ができるよう支援します。

ウ すべての小・中学校に学校司書・読書ヘルパーを配置し、読書活動の充実と学校図書館を活用した調べ学習等が積極的に展開できる環境を整えます。

エ 出雲科学館で取り組む理科学習の充実に取り組み、児童生徒の科学への興味・関心を高めるとともに、問題解決能力の向上を図ります。

オ 主権者教育や小学校での外国語教育、プログラミング教育などについて、

検討委員会等で研究するとともに、学校での円滑な実施に向けた準備に取り組めます。

カ 各学校の学力向上策や教育実践に関する優れた取組を、教職員に紹介します。

キ 保護者をはじめ市民に、学力向上の必要性や具体的な取組を情報発信します。

(2) 主体的な学びに結びつく家庭学習の充実

児童生徒が、主体的に学ぶ態度を身に付けることを目指し、家庭学習の習慣化と学習内容の充実を図ります。

① 児童生徒が行うこと

ア 学校から示された家庭学習の課題のほか、自主的な学習にも取り組めます。

イ 家庭学習での目標や時間を決め、継続的に取り組めます。

② 学校が行うこと

ア 「家庭学習の手引き」を作成して児童生徒に指導し、家庭にも協力を求めます。それにより、家庭学習の時間確保と質の向上を目指します。

イ 各学校が策定した学力向上策の家庭学習に係る事項や、中学校区で連携して行う学力向上の取組を確実に実践します。

③ 家庭で行うこと

ア 基本的な生活習慣を確立するとともに、家庭学習環境を整えます。

イ 子どもの学校での学習状況を把握したり、課題の改善に向けた取組を応援したりするなどを、学校と連携して実践します。

ウ 家庭でメディア(ゲーム・テレビ・インターネット・SNS等)に関するルールを作り、子どもの健康・安全対策に取り組めます。

④ 教育委員会が行うこと

ア 放課後等を利用した学習支援事業を実施し、主体的に学ぼうとする子どもを支援します。

イ 各学校で作成されている「家庭学習の手引き」や、効果を上げている取組を各校に紹介します。

ウ 家庭学習の充実と基本的な生活習慣の確立について、家庭への啓発を行います。

(3) 学校と家庭・地域等との連携強化

本市独自の取組である保幼小中連携推進事業や地域学校運営理事会制度を活用し、学校と家庭・地域等との連携を強化することにより、学力向上を推進します。

また、地域の「ひと・もの・こと」を活用した、ふるさと・キャリア教育を展開します。

① **保幼小中連携の充実**

学力に関する情報共有や共通の取組及び基本的な生活習慣の確立等に向けた共通の実践を充実させ、学力向上を推進します。

② **ふるさと・キャリア教育の推進**

ア 地域学校運営理事会による地域で学校を支援する体制づくりや、地域の「ひと・もの・こと」を活用したふるさと・キャリア教育を推進する等、地域との連携を強化することにより、学力向上を推進します。

イ 小学校第3・4学年で使用される社会科副読本の内容を見直し、さらにふるさと出雲への関心と知見を深めるきっかけとなる補助教材となるように編集を行います。

③ **「学力向上策」の共有及び連携した取組の推進**

各学校の学力調査結果分析と改善策を公表し、学校、家庭・地域、教育委員会が学力に関する情報を共有します。そして、それに基づき連携した取組を展開します。

【資料】

平成 2 8 年度

全国及び市学力・学習状況調査の結果

1 全国調査の概要

(1) 期日

平成28年4月19日（火）

(2) 対象学年及び教科

小学校第6学年〔国語・算数・学習状況調査〕

中学校第3学年〔国語・数学・学習状況調査〕

※ 国語及び算数/数学の調査では、「主として知識を問う問題(以下、「A」という。)」と、「主として活用を問う問題(以下、「B」という。)」に分けて実施された。

(3) 平均正答率による昨年度との比較

① 小学校第6学年

教科 区分	国語				算数			
	A (知識)		B (活用)		A (知識)		B (活用)	
	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28
出雲市	71.2	75.9	65.2	59.1	73.2	77.7	43.5	46.4
島根県	69.3	74.5	63.8	57.3	72.4	77.0	42.2	45.9
全国	70.0	72.9	65.4	57.8	75.2	77.6	45.0	47.2

小学校第6学年は、全ての調査結果において、島根県の平均正答率（以下「正答率」という。）を上回った。

また、国語の知識・活用及び算数の知識においては、全国の正答率を上回った。

② 中学校第3学年

教科 区分	国語				数学			
	A (知識)		B (活用)		A (知識)		B (活用)	
	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28
出雲市	77.1	77.6	66.7	70.0	65.4	60.9	42.1	44.2
島根県	75.7	76.3	65.6	67.9	62.7	59.5	39.6	41.7
全国	75.8	75.6	65.8	66.5	64.4	62.2	41.6	44.1

中学校第3学年は、全ての調査結果において、島根県の正答率を上回った。

また、国語の知識・活用及び数学の活用においては、全国の正答率を上回った。

2 市調査の概要

(1) 期日

平成28年4月19日（火）・20日（水）

(2) 対象学年及び教科

小学校第4学年〔国語・算数・学習状況調査〕

小学校第5学年〔国語・算数・社会・理科・学習状況調査〕

小学校第6学年〔社会・理科〕

中学校第2学年〔国語・数学・社会・理科・英語・学習状況調査〕

(3) 正答率による全国との比較

教科 区分	国語			算数/数学			英語
	小4	小5	中2	小4	小5	中2	中2
出雲市	71.7	68.7	74.3	74.9	64.2	61.4	67.1
全国	73.1	71.4	72.3	75.9	68.3	60.5	64.3

教科 区分	社会			理科		
	小5	小6	中2	小5	小6	中2
出雲市	57.1	69.3	56.8	66.7	66.3	53.2
全国	59.0	67.7	56.4	68.4	65.9	50.8

小学校（第4～6学年）は、第6学年の社会及び理科で全国の正答率を上回った。

中学校（第2学年）は、全ての教科で全国の正答率を上回った。

3 学習内容の成果と課題

<本市の成果○と課題▲>

① 小学校

ア 国語A

- 全ての領域において、国・県より正答率が高かった。
- 昨年度の課題であった、資料から読み取ったり、図と表を関係付けて読んだりする「読み取る力」において、正答率が国・県を上回った。

イ 国語B

- 全ての領域において、国・県より正答率が高かった。
- 昨年度の課題であった、文章の内容を的確におさえるなど「読む力」の正答率が国・県を上回った。

ウ 算数 A

- 三角形の底辺と高さの関係など図形の問題では、国・県より正答率が高かった。
- ▲ 小数の除法計算と小数の大小関係を扱った問題の正答率は、国・県を下回った。

エ 算数 B

- 計算のきまりが成り立つかを考えたり、割合を使って比較したりする問題の正答率は、国より高かった。
- ▲ 示された図や情報を基にして、立式したり式の意味を説明したりする問題では、国の正答率より 3 割以上低かった。

② 中学校

ア 国語 A

- 全ての領域において、国・県より正答率が高かった。
- 熟語の意味や文章の構成についての理解が高かった。

イ 国語 B

- 全ての領域において、国・県より正答率が高かった。
- 根拠を明確にして自分の考えを書く問題では 4.3 割、目的に応じて必要な情報を読み取る問題では 7.1 割国より正答率が高かった。

ウ 数学 A

- 正・負の加法計算や簡単な一元一次方程式を解く問題、連立二元一次方程式の理解の問題は、国・県より正答率が高かった。
- ▲ 自然数に関する理解や、数量の関係を捉えて比例式をつくる問題では、国の正答率より 5 割以上低かった。

エ 数学 B

- 新たに付加された条件の下で、図形がどのようになるかを証明する問題では、国の正答率より高かった。
- ▲ 与えられた情報の中から必要な情報を選んだり、資料の数値から判断したことを説明したりする問題が、国の正答率より低かった。

4 学習状況調査結果の概要

(1) 生活習慣と正答率との相関関係があった質問項目の正答率の差 (単位: 割)

※ いずれも最初のゴシック体の回答が上回っている。

① 「毎日、同じ時刻に就寝する」と「違った時刻である」

区分	国語 A	国語 B	算数/数学 A	算数/数学 B
小 6	1 6 . 9	2 4 . 1	1 9 . 7	1 5 . 6
中 3	7 . 2	7 . 5	1 2 . 3	1 1 . 7

- ② 「自分で計画を立てて勉強をしている」と「全くしていない」

区分	国語 A	国語 B	算数/数学 A	算数/数学 B
小 6	12.2	11.4	7.5	10.6
中 3	5.5	7.9	10.8	6.7

- ③ 「1日のテレビゲームの時間が1時間未満」と「4時間以上」

区分	国語 A	国語 B	算数/数学 A	算数/数学 B
小 6	10.7	10.9	13.9	9.5
中 3	7.5	13.5	15.1	11.8

- ④ 「1日のインターネットをする時間が30分未満」と「4時間以上」

区分	国語 A	国語 B	算数/数学 A	算数/数学 B
小 6	13.8	19.6	19.0	16.0
中 3	9.0	17.9	18.9	15.5

- ⑤ 「家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話す」と「全く話さない」

区分	国語 A	国語 B	算数/数学 A	算数/数学 B
小 6	12.8	16.8	9.0	9.9
中 3	10.5	12.0	13.2	12.8

- ⑥ 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と「関心がない」

区分	国語 A	国語 B	算数/数学 A	算数/数学 B
小 6	13.3	14.1	11.9	11.5
中 3	5.4	15.0	10.0	9.3

(2) 家庭学習時間の状況について (単位：%)

- ① 平日の家庭学習時間

【小6】

区分	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分 未満	全くしない 無回答など
H27	3.6	12.1	51.2	27.8	4.3	1.0
H28	4.8	13.3	52.2	25.2	3.7	0.8
H28 県	4.0	12.0	50.1	27.3	5.5	1.1
H28 国	10.8	14.7	37.1	25.4	8.9	3.1

【中3】

区分	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分 未満	全くしない 無回答など
H27	3.6	17.7	40.1	24.0	11.3	3.3
H28	3.0	15.6	40.9	27.7	9.2	3.6
H28 県	2.2	12.3	39.0	29.2	12.4	4.9
H28 国	9.4	24.8	33.7	17.7	8.9	5.5

② 休日の家庭学習時間

【小6】

区分	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全くしない 無回答など
H27	1.6	4.1	14.7	43.9	32.9	2.8
H28	1.6	6.2	16.1	43.5	30.5	2.1
H28 県	1.7	5.2	15.0	44.4	30.9	2.8
H28 国	6.7	5.0	12.5	32.8	32.8	10.2

【中3】

区分	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全くしない 無回答など
H27	3.7	10.8	27.0	34.2	19.1	5.2
H28	2.8	9.5	27.3	34.9	20.6	4.9
H28 県	1.9	7.0	23.1	35.3	25.8	6.9
H28 国	5.1	11.5	23.5	27.8	21.0	11.1

(3) 昨年度と比較して改善及び課題がみられた質問項目について

① 小学校第6学年

【改善】

	(H27 / H28)	(差)
a ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	(93.5/95.0)	1.5
b 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか	(76.0/77.7)	1.7
c 自分にはよいところがあると思いますか	(75.1/79.0)	3.9
d 友達の前で自分の意見を発表することは得意ですか	(47.0/49.5)	2.5
e 将来の夢や目標を持っていますか	(83.3/86.3)	3.0
f 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	(79.5/80.8)	1.3
g 家で授業の予習をしていますか	(39.7/41.5)	1.8
h 家で授業の復習をしていますか	(60.0/62.2)	2.2
i 今住んでいる地域の行事に参加していますか	(71.6/74.2)	2.6
j 社会や地域で起こっている問題や出来事に 関心がありますか	(64.5/75.1)	10.6
k 新聞を読んでいますか	(26.2/27.5)	1.3
l 学校のきまりを守っていますか	(91.4/93.8)	2.4
m 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	(93.4/95.0)	1.6

【課題】

昨年度より1割以上、下回った項目はなし。

② 中学校第3学年

【改善】	(H27 / H28)	(差)
a 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか	(78.0/80.6)	2.6
b 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか	(67.3/73.0)	5.7
c 自分にはよいところがあると思いますか	(68.6/70.4)	1.8
d 友達の前で自分の意見を発表することは得意ですか	(46.1/48.9)	2.8
e 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	(92.9/94.3)	1.4
f 将来の夢や目標を持っていますか	(70.6/72.6)	2.0
g 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	(74.5/77.6)	3.1
h 家で授業の予習をしていますか	(34.2/37.4)	3.2
i 家で授業の復習をしていますか	(62.8/65.9)	3.1
j 社会や地域で起こっている問題や出来事に興味がありますか	(57.6/71.7)	14.1

【課題】	(H27 / H28)	(差)
a 今住んでいる地域の行事に参加していますか	(45.6/44.2)	-1.4

(4) 教科に対する意識について

① 国語に関すること

		(H27 / H28)	(差)
a 国語の勉強は好きですか	<小6>	▲ (62.2/58.9)	-3.5
	<中3>	○ (58.4/60.8)	2.4
b 国語の勉強は大切だと思いますか	<小6>	▲ (92.1/90.6)	-1.5
	<中3>	▲ (90.2/89.5)	-0.7
c 国語の授業内容はよくわかりますか	<小6>	▲ (83.6/81.8)	-1.8
	<中3>	○ (75.2/75.3)	0.1
d 読書は好きですか	<小6>	○ (69.3/74.2)	4.9
	<中3>	(72.2/72.2)	±0

② 算数/数学に関すること

		(H27 / H28)	(差)
a 算数/数学の勉強は好きですか	<小6>	○ (55.9/57.8)	1.9
	<中3>	○ (53.4/57.2)	3.8
b 算数/数学の勉強は大切だと思いますか	<小6>	▲ (92.4/90.2)	-2.2
	<中3>	▲ (84.4/83.2)	-1.2
c 算数/数学の授業内容はよくわかりますか	<小6>	○ (76.6/78.1)	1.5
	<中3>	▲ (72.3/69.1)	-3.2

(5) 学習状況調査からみた生活習慣の比較

※ 全国平均と5ポイント以上の差があった質問項目について

①小4	(本市/全国)	(差)
○家の人から言われなくても進んで勉強している	(77.8/71.3)	6.5
○テレビのニュースを見ている	(81.6/75.5)	6.1
○朝食は家の人といっしょに食べている	(79.3/73.9)	5.4
▲勉強に辞書(電子辞書をふくむ)を利用している	(41.6/52.4)	-10.8
▲本(マンガや雑誌をふくまない)を読んでいる	(63.9/70.6)	-6.7
▲参考書や問題集などを使って、勉強している	(44.4/51.1)	-6.7
▲家の手伝い(ゴミ出しなど)をしている	(73.5/78.6)	-5.1
②小5	(本市/全国)	(差)
○朝食は家の人といっしょに食べている	(78.6/70.7)	7.9
○自分で時間を決めてテレビを見ている	(49.0/43.2)	5.8
○地域の行事に参加している	(68.1/60.5)	7.6
○家の人から言われなくても進んで勉強している	(76.6/68.8)	7.8
○自分で勉強の計画を立てて勉強している	(70.0/63.7)	6.3
▲勉強に辞書(電子辞書をふくむ)を利用している	(45.4/55.3)	-9.9
▲参考書や問題集などを使って、勉強している	(39.8/46.4)	-6.6
▲新聞の記事を読んでいる	(31.2/37.0)	-5.8
③小6	(本市/全国)	(差)
○家で、自分で計画を立てて勉強している	(68.4/62.2)	6.2
○家で、学校の授業の復習をしている	(62.2/55.2)	7.0
○家で、予習・復習やテスト勉強などの自主学習において、教科書を使いながら学習している	(70.3/64.6)	5.7
○今住んでいる地域の行事に参加している	(74.2/67.9)	6.3
④中2	(本市/全国)	(差)
○家の人から言われなくても進んで勉強している	(69.8/52.6)	17.2
○朝食は家の人といっしょに食べている	(68.9/52.6)	16.3
○自分で時間を決めて遊んでいる	(78.4/65.0)	13.4
○困っている人の手助けをしている	(71.1/58.1)	13.0
○自分で勉強の計画を立てて勉強している	(66.0/53.2)	12.8
○地域の行事に参加している	(52.9/40.5)	12.4
○学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている	(80.6/69.2)	11.4
○睡眠不足にならないようにしている	(71.6/60.8)	10.8
○自分で時間を決めてテレビを見ている	(43.7/33.6)	10.1
○出かけるときは家の人に行先を言っている	(88.6/78.9)	9.7
○夜は時刻を決めて寝ている	(50.6/41.1)	9.5
○勉強に図書館を利用している	(18.7/10.1)	8.6
○学校での出来事を家の人に話している	(80.0/72.1)	7.9
○勉強するときは集中している	(76.1/68.5)	7.6
○家では、勉強する場所を決めている	(80.7/74.5)	6.2
○テレビのニュースを見ている	(84.3/78.3)	6.0

	(本市/全国)	(差)
○学校では先生に挨拶している	(96.3/91.2)	5.1
○参考書や問題集などを使って勉強している	(60.3/55.2)	5.1
▲家の手伝い(ゴミ出しなど)をしている	(60.0/66.1)	-6.1

⑤中3

	(本市/全国)	(差)
○毎日、同じくらいの時刻に寝ている	(80.6/75.2)	5.4
○家で、自分で計画を立てて勉強している	(53.5/48.4)	5.1
○家で、学校の授業の復習をしている	(65.9/51.0)	14.9
○家で予習・復習やテスト勉強などの自主学習において、教科書を使いながら学習している	(77.6/68.2)	9.4
○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	(71.7/65.8)	5.9

〔 学力を支える合言葉 〕

い つも確認 家庭のルール

ず っと続ける 家庭学習

も っと話そう 学校のこと